



(財)財務会計基準機構会員

平成 20 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 11 日

上場会社名 **株式会社スギ薬局**

上場取引所 東証一部・名証一部

コード番号 7649

URL <http://www.drug-sugi.co.jp/>

代表者(役職名)代表取締役社長(氏名)杉浦広一

問合せ先責任者(役職名)取締役管理本部長(氏名)山口博久

TEL(0566)73-6300

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 2 月期第 3 四半期の連結業績(平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 2 月期第 3 四半期	183,199	12.9	8,460	28.7	9,395	29.6	4,943	61.3
19 年 2 月期第 3 四半期	162,318	-	6,576	-	7,247	-	3,064	-
19 年 2 月期	217,229	-	9,250	-	10,090	-	4,000	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 2 月期第 3 四半期	78	06	-	-
19 年 2 月期第 3 四半期	51	25	-	-
19 年 2 月期	66	91	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20 年 2 月期第 3 四半期	123,361		64,379		52.2	1,016	73	
19 年 2 月期第 3 四半期	102,219		59,979		51.2	875	10	
19 年 2 月期	101,258		61,132		52.6	891	00	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20 年 2 月期第 3 四半期	11,401		2,246		873		27,946	
19 年 2 月期第 3 四半期	7,717		13,855		5,640		29,210	
19 年 2 月期	8,760		14,517		5,666		19,681	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当り配当金									
	第1四半期末		中間期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
19 年 2 月期	0	00	4	00	0	00	8	00	12	00
20 年 2 月期	0	00	4	00	0	00				
20 年 2 月期(予想)							8	00	12	00

(注) 1. 19 年 2 月期期末配当金には、記念配当 4 円が含まれております。

2. 20 年 2 月期期末配当金は、4 円から 8 円に修正しております。

3. 平成 20 年 2 月期の連結業績予想(平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 2 月 29 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	247,400	13.9	11,300	22.2	12,300	21.9	6,500	62.5	102	64

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(参考) 個別業績の概要

1. 平成 20 年 2 月期第 3 四半期の個別業績 (平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 11 月 30 日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 2 月期第 3 四半期	124,799	15.9	6,837	35.6	7,874	39.4	4,547	56.3
19 年 2 月期第 3 四半期	107,654	17.7	5,042	11.1	5,650	10.2	2,909	5.9
19 年 2 月期	144,999	-	7,193	-	7,946	-	3,752	-

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 2 月期第 3 四半期	71	82	-	-
19 年 2 月期第 3 四半期	48	67	-	-
19 年 2 月期	62	77	-	-

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20 年 2 月期第 3 四半期	101,259		63,750		63.0	1,006	80	
19 年 2 月期第 3 四半期	82,869		52,166		63.0	872	53	
19 年 2 月期	83,440		53,011		63.5	886	67	

2. 平成 20 年 2 月期の個別業績予想 (平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 2 月 29 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	167,100	15.2	9,300	29.3	10,600	33.4	6,000	59.9	94	75

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5 ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日、以下、当四半期）における我が国の経済は、サブプライム問題や原油高騰などの不安要因を抱えながらも、企業収益が総じて高水準で推移し、設備投資の増加や雇用情勢の改善により、景気は緩やかに拡大しました。

個人消費においては、金利上昇への懸念や定率減税の廃止、原油高騰による生活コストの上昇等により、個人消費は弱めに推移しており、先行き不透明な状況が続いております。

当社を含む小売業界においては、原油高騰に伴う原材料価格の上昇や改正建築基準法の影響など、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは引き続き積極的な店舗展開を実施し、グループ合計で新規出店 32 店舗、退店 12 店舗を実施いたしました。

また、埼玉県及び群馬県を中心にドラッグストア 97 店舗（2007 年 11 月末現在）を運営する飯塚薬品株式会社（本社：群馬県前橋市、以下、飯塚薬品）の株式 3,528,000 株（議決権比率 85.6%）を平成 19 年 9 月 3 日付で取得しました。

この結果、当四半期末の総店舗数は 129 店舗増加し、627 店舗となりました。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高 183,199 百万円（前年同期比 12.9%増、20,881 百万円増）、営業利益 8,460 百万円（同 28.7%増、1,884 百万円増）、経常利益 9,395 百万円（同 29.6%増、2,148 百万円増）及び四半期純利益 4,943 百万円（同 61.3%増、1,878 百万円増）となりました。

なお、上記連結経営成績には、飯塚薬品の 3 ヶ月間（平成 19 年 9 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日）の業績として、売上高 4,247 百万円、営業利益 217 百万円、経常利益 271 百万円、四半期純利益 267 百万円が連結対象となっております。

また、当社は平成 19 年 3 月 1 日を効力発生日として、株式会社ジャパン（以下、ジャパン）を当社（株式会社 スギ薬局）の完全子会社とする株式交換を実施しました。これにより、当社が保有するジャパン普通株式の比率が前年同期の 50.1%から 100.0%となり、当四半期においては、ジャパンの四半期純利益に対する当社の持分割合が 100.0%となっております。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

なお、種類別セグメントの名称を、『ドラッグストア事業』から『ファーマシー事業』へ、『ディスカウントストア事業』から『ドラッグ事業』に変更しております。

・ファーマシー事業

ファーマシー事業は、スギ薬局のみで構成されております。

当四半期においては、引き続き積極的な店舗展開を実施し、関東エリアに 11 店舗、中部エリアに 8 店舗、関西エリアに 12 店舗、合計 31 店舗を新規に出店し、10 店舗を退店いたしました。その結果、当四半期末の店舗数は 389 店舗となりました。

また、当四半期の売上高は、前述の積極的な店舗展開に加えて、既存店の売上高が前年同期比 108.0%と好調に推移した結果、124,799 百万円(同 15.9%増、17,144 百万円増)となりました。

売上総利益率は、調剤、ヘルスケア及びビューティケアの売上総利益率が改善したことにより、前年同期の 27.6%から 27.7%へ 0.1 ポイント改善しました。

売上高販管費比率は、販売費等のコスト削減に努めた結果、前年同期の 22.7%から 22.2%へ 0.5 ポイント改善しました。

この結果、ファーマシー事業の営業利益は 6,955 百万円(同 32.7%増、1,714 百万円増)となり、営業利益率は前年同期の 4.9%から 5.6%へ 0.7 ポイント改善しました。

・ドラッグ事業

ドラッグ事業は、ジャパン及び飯塚薬品で構成されております。

当四半期においては、1 店舗を新規出店し、2 店舗を退店いたしました。また、平成 19 年 9 月 3 日付で 97 店舗のドラッグストアを運営する飯塚薬品を子会社化したことにより、当四半期末の店舗数は、238 店舗となりました。

当四半期の売上高は、飯塚薬品の影響により、58,316 百万円(同 6.8%増、3,713 百万円増)となりました。

売上総利益率は、品揃えの見直しや値入率の改善等により前年同期の 20.0%から 20.2%へ 0.2 ポイント増加しました。

売上高販管費比率は、コストコントロールに努めたものの、飯塚薬品の影響により、前年同期の 17.3%から 17.7%へ 0.4 ポイント増加しました。

この結果、ドラッグ事業の営業利益は 1,443 百万円(同 0.3%増、3 百万円増)となり、営業利益率は前年同期の 2.6%から 2.5%となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第 3 四半期連結会計期間末の資産につきまして、前連結会計年度末に比べ 22,102 百万円増加し 123,361 百万円になりました。資産の内訳は、流動資産が前連結会計年度末に比べ 14,688 百万円増加し 78,321 百万円となり、固定資産が 7,414 百万円増加し 45,040 百万円となりました。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が 8,223 百万円、たな卸資産が 4,993 百万円増加したことによります。また、固定資産の主な増加要因は、有形固定資産が 2,828 百万円及び差入保証金が 2,492 百万円増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ 18,855 百万円増加し 58,981 百万円となりました。負債の内訳は、流動負債が前連結会計年度末に比べ 18,690 百万円増加して 53,716 百万円となり、固定負債が 164 百万円増加し 5,265 百万円となりました。流動負債の主な増加要因は、買掛金が 9,551 百万円及び 1 年内返済予定長期借入金が 4,466 百万円増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 3,247 百万円増加し 64,379 百万円となりました。これは株式会社ジャパンを完全子会社化したことによる少数株主持分の減少が 7,861 百万

円あったのに対して、同社を完全子会社化するために行った株式交換に伴う資本剰余金の増加が 6,954 百万円及び利益剰余金の増加が 4,211 百万円あったことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、8,265 百万円増加し、27,946 百万円(前年同期比 44.7%増)になりました。

当四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 11,401 百万円(同 47.7%増)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の 9,203 百万円、及び仕入債務の増加 7,670 百万円等の資金増加要因に対し、法人税等の支払 4,954 百万円等の資金減少要因を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 2,246 百万円(同 83.8%減)となりました。これは、主に 32 店舗出店による有形固定資産の取得による支出 1,710 百万円、出店準備中の店舗案件を含めて差入保証金等の支出が 517 百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 873 百万円(同 84.5%減)となりました。これは、主に配当金 707 百万円の支払いを行ったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は下記の要因により、業績予想を修正しております

単体業績予想

当会計期間においては、改正建築基準法の施行に伴う新規出店の遅れが想定される一方で、当第 3 四半期(平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日)において既存店の売上高が前年同期比 108.0%と好調に推移しており、平成 19 年 12 月～平成 20 年 2 月においても、予想を上回る推移が見込まれております。

また、利益につきましては、調剤・ヘルスケア・ビューティケアを中心に売上総利益率が改善傾向にあり、また、販管費比率が前年同期比で改善傾向にあることから、営業利益も予想を上回って推移しております。

以上の結果、通期の業績は、売上高 167,100 百万円(期初予想比 3.0%増、4,800 百万円増)、営業利益 9,300 百万円(同 10.7%増、900 百万円増)、経常利益 10,600 百万円(同 17.0%増、1,540 百万円増)、当期純利益 6,000 百万円(同 22.4%増、1,100 百万円増)となる見通

しであります。

【単体】

(金額の単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)		162,300	8,400	9,060	4,900
今回修正予想 (B)		167,100	9,300	10,600	6,000
増減額 (B - A)		+ 4,800	+ 900	+ 1,540	+ 1,100
増減率 (%)		+ 3.0%	+ 10.7%	+ 17.0%	+ 22.4%
(ご参考)	前期実績	144,999	7,193	7,946	3,752
	前年対比 (%)	115.2%	129.3%	133.4%	159.9%

連結業績予想

当連結会計期間においては、当社単体の業績が予想を上回って推移する見通しであり、一方、平成 19 年 9 月 3 日付で飯塚薬品を子会社化したことに伴い、飯塚薬品の 6 ヶ月間 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日) の業績見通し、売上高 8,400 百万円、営業利益 500 百万円、経常利益 600 百万円、当期純利益 600 百万円が、連結対象となる予定であります。

以上の結果、通期の連結業績は、売上高 247,400 百万円 (期初予想比 5.7% 増、13,400 百万円増)、営業利益 11,300 百万円 (同 7.1% 増、750 百万円増)、経常利益 12,300 百万円 (同 3.8% 増、450 百万円増)、当期純利益 6,500 百万円となる見通しであります。

【連結】

(金額の単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)		234,000	10,550	11,850	6,500
今回修正予想 (B)		247,400	11,300	12,300	6,500
増減額 (B - A)		+ 13,400	+ 750	+ 450	0
増減率 (%)		+ 5.7%	+ 7.1%	+ 3.8%	0.0%
(ご参考)	前期実績	217,229	9,250	10,090	4,000
	前年対比 (%)	113.9%	122.2%	121.9%	162.5%

(注意事項)

業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・当社営業地域の経済状況の急激な変動
- ・薬事法・大規模店舗立地法等の各種規制の大幅な変更
- ・薬剤師有資格者の労働市場における需給関係の急激な変動 など

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い当四半期会計期間より、平成 19 年 4 月 1 日以降取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく定率法（ただし当社建物（付属設備を除く）については定額法）に変更しております。

なお、これらの変更による損益への影響は、軽微であります。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年2月期 第3四半期末)	当四半期 (平成20年2月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	30,619	39,146	8,527	27.8	30,922
売掛金	2,861	3,357	495	17.3	2,709
たな卸資産	26,659	30,546	3,886	14.6	25,552
その他	4,437	5,270	832	18.8	4,448
流動資産合計	64,578	78,321	13,742	21.3	63,633
固定資産					
1 有形固定資産					
建物及び構築物	14,759	16,473	1,714	11.6	14,548
土地	5,965	6,730	765	12.8	5,965
その他	1,637	1,737	100	6.1	1,598
有形固定資産合計	22,363	24,942	2,579	11.5	22,113
2 無形固定資産					
のれん	-	3,270	-	-	-
連結調整勘定	1,676	-	-	-	1,577
その他	1,769	1,953	183	10.4	1,751
無形固定資産合計	3,445	5,223	1,777	51.6	3,329
3 投資その他の資産					
差入保証金	9,391	12,015	2,624	27.9	9,523
その他	2,440	2,858	417	17.1	2,659
投資その他の資産合計	11,832	14,874	3,041	25.7	12,182
固定資産合計	37,641	45,040	7,399	19.7	37,625
資産合計	102,219	123,361	21,141	20.7	101,258
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	26,384	32,682	6,297	23.9	23,130
1年内返済予定 長期借入金	-	6,466	6,466	-	2,000
その他	8,757	14,567	5,810	66.3	9,894
流動負債合計	35,142	53,716	18,573	52.9	35,025
固定負債					
長期借入金	5,000	1,433	3,566	71.3	3,000
退職給付引当金	831	1,092	261	31.4	871
役員退職引当金	598	661	63	10.5	611
負ののれん	-	695	-	-	-
その他	667	1,381	713	106.9	617
固定負債合計	7,097	5,265	1,832	25.8	5,101
負債合計	42,240	58,981	16,741	39.6	40,126

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 2 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 2 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 2 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	15,434	15,434	-	-	15,434
2 資本剰余金	17,677	24,632	6,954	39.3	17,677
3 利益剰余金	19,185	24,333	5,147	26.8	20,121
4 自己株式	0	25	25	-	0
株主資本合計	52,297	64,374	12,077	23.1	53,233
評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	19	5	13	71.7	21
2 繰延ヘッジ 損益	3	-	3	-	16
評価・換算差額等合計	22	5	17	76.2	37
少数株主持分	7,659	-	7,659	-	7,861
純資産合計	59,979	64,379	4,400	7.3	61,132
負債、純資産合計	102,219	123,361	21,141	20.7	101,258

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 2 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 2 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 平成 19 年 2 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	162,318	183,199	20,881	12.9	217,229
売上原価	121,690	136,684	14,993	12.3	162,478
売上総利益	40,627	46,515	5,887	14.5	54,751
販売費及び一般管理費	34,050	38,054	4,003	11.8	45,500
給与手当	12,206	14,797	2,591	21.2	18,403
賃借料	7,272	8,143	871	12.0	9,791
その他	14,572	15,113	540	3.7	17,305
営業利益	6,576	8,460	1,884	28.7	9,250
営業外収益	1,271	1,669	398	31.3	1,705
営業外費用	600	734	134	22.4	865
経常利益	7,247	9,395	2,148	29.6	10,090
特別利益	85	93	8	9.9	85
特別損失	786	286	499	63.6	1,541
税金等調整前四半 期(当期)純利益	6,546	9,203	2,656	40.6	8,634
税金費用	2,897	4,259	1,362	47.0	3,858
少数株主利益	584	-	584	-	775
四半期(当期)純利益	3,064	4,943	1,878	61.3	4,000

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前四半期(要約) 連結株主資本等変動計算書(自平成 18 年 3 月 1 日 至平成 18 年 11 月 30 日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換 算差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計			
平成 18 年 2 月 28 日 残高	15,434	17,677	16,608	0	49,720	31	7,212	56,964
四半期中の変動額								
剰余金の配当			478		478			478
役員賞与			9		9			9
四半期純利益			3,064		3,064			3,064
自己株式の取得				0	0			0
株主資本以外の項目 の四半期中の変動額 (純額)						8	447	438
中間連結会計期間中 の変動額合計	-	-	2,576	0	2,576	8	447	3,015
平成 18 年 11 月 30 日 残高	15,434	17,677	19,185	0	52,297	22	7,659	59,979

当四半期(要約)連結株主資本等変動計算書(自平成 19 年 3 月 1 日 至平成 19 年 11 月 30 日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成 19 年 2 月 28 日 残高	15,434	17,677	20,121	0	53,233	37	7,861	61,132
四半期中の変動額								
株式交換に伴う 新株の発行		6,954			6,954			6,954
剰余金の配当			731		731			731
四半期純利益			4,943		4,943			4,943
自己株式の取得				25	25			25
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額 (純額)						31	7,861	7,893
四半期中連結会計期間 中の変動額合計	-	6,954	4,211	25	11,141	31	7,861	3,247
平成 19 年 11 月 30 日 残高	15,434	24,632	24,333	25	64,374	5	-	64,379

(参考)平成 19 年 2 月期連結株主資本等変動計算書(自平成 18 年 3 月 1 日 至平成 19 年 2 月 28 日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成 18 年 2 月 28 日 残高	15,434	17,677	16,608	0	49,720	31	7,212	56,964
連結会計年度の 変動額								
剰余金の配当(注)			239		239			239
剰余金の配当			239		239			239
役員賞与(注)			9		9			9
当期純利益			4,000		4,000			4,000
自己株式の取得				0	0			0
株主資本以外の項目 の連結会計年度の変 動額(純額)						5	649	654
連結会計年度中の 変動額合計	-	-	3,512	0	3,512	5	649	4,167
平成 19 年 2 月 28 日 残高	15,434	17,677	20,121	0	53,233	37	7,861	61,132

(注)平成 18 年 5 月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成 19 年 2 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 2 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 19 年 2 月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,546	9,203	8,634
減価償却費	1,399	1,533	1,911
減損損失	509	151	667
過年度損益修正損	-	-	635
連結調整勘定償却額	295	-	394
のれん償却額	-	400	-
負ののれん償却額	-	122	-
賞与引当金の増減額(減少：)	594	853	41
退職給付引当金の増減額(減少：)	154	144	194
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)	34	34	47
貸倒引当金の増減額(減少：)	14	14	38
投資損失引当金の増減額(減少：)	-	2	1
受取利息及び受取配当金	58	148	111
広告宣伝用器具受贈益	178	137	205
支払利息	16	44	22
固定資産売却益	12	0	12
固定資産売却損	6	-	6
固定資産除却損	93	37	114
売上債権の増減額(増加：)	614	641	462
たな卸資産の増減額(増加：)	3,970	3,378	2,863
仕入債務の増減額(減少：)	5,715	7,670	2,476
役員賞与の支払額	9	-	9
その他	592	676	494
小計	11,132	16,309	12,015
利息及び配当金の受取額	16	75	54
利息の支払額	17	29	22
法人税等の支払額	3,413	4,954	3,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,717	11,401	8,760
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金及び定期積金の預入による支出	11,307	11,000	22,367
定期預金及び定期積金の払戻による収入	949	11,241	12,069
有形固定資産の取得による支出	2,098	1,710	2,594
有形固定資産の売却による収入	62	26	141
無形固定資産の取得による支出	177	305	251
無形固定資産の売却による収入	-	-	1
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	350	-
差入保証金による支出	1,282	517	1,517
差入保証金の返還による収入	276	254	367
その他の投資増減額(増加：)	278	586	365
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,855	2,246	14,517

	前年同四半期 (平成 19 年 2 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 2 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 19 年 2 月期
区 分	金 額	金 額	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の返済による支出	5,000	-	5,000
長期借入金の返済による支出	-	6	-
社債の償還による支出	-	40	-
割賦債務等の支出	41	30	54
配当金の支払額	462	707	474
少数株主への配当金の支払額	136	68	136
その他	0	20	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,640	873	5,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	16	22
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	11,763	8,265	11,400
現金及び現金同等物の期首残高	31,081	19,681	31,081
現金及び現金同等物の期末残高	19,317	27,946	19,681

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成 19 年 2 月期第 3 四半期)

(単位:百万円)

	ファーマシー 事業	ドラッグ 事業	計	消去又は全社	連結
売上高	107,654	54,603	162,258	59	162,318
営業費用	102,413	53,163	155,577	164	155,741
営業利益	5,240	1,440	6,681	104	6,576

当四半期(平成 20 年 2 月期第 3 四半期)

(単位:百万円)

	ファーマシー 事業	ドラッグ 事業	計	消去又は全社	連結
売上高	124,799	58,316	183,115	83	183,199
営業費用	117,843	56,873	174,716	22	174,739
営業利益	6,955	1,443	8,399	61	8,460

(参考)前期(平成 19 年 2 月期)

(単位:百万円)

	ファーマシー 事業	ドラッグ 事業	計	消去又は全社	連結
売上高	144,999	72,143	217,142	86	217,229
営業費用	137,537	70,225	207,762	216	207,978
営業利益	7,461	1,918	9,379	129	9,250

(参考資料)

〔売上高の対前年同月比の推移〕

グループ合計			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	全店	売上高	112.1	110.1	111.1	109.1	107.5	109.2	120.2	117.6	119.8
		客数	112.6	109.0	109.2	107.8	105.7	107.6	122.4	120.0	121.3
		客単価	99.6	101.0	101.7	101.3	101.7	101.5	98.2	98.0	98.8
	既存店	売上高	105.9	104.3	105.3	103.9	102.3	104.4	108.5	107.2	108.2
		客数	105.1	102.3	102.6	101.3	99.5	101.6	106.0	104.4	104.9
客単価		100.8	102.0	102.6	102.6	102.8	102.8	102.4	102.7	103.2	

スギ薬局			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	全店	売上高	118.3	117.0	118.4	115.1	112.9	114.7	115.0	115.2	117.8
		客数	120.9	116.8	117.2	114.7	112.0	114.0	114.6	113.8	115.5
		客単価	97.8	100.1	101.0	100.4	100.8	100.6	100.4	101.3	102.0
	既存店	売上高	108.0	107.1	108.2	106.0	104.1	106.5	109.8	110.5	111.5
		客数	107.4	104.4	104.8	102.6	100.7	103.1	107.1	107.0	107.2
客単価		100.6	102.7	103.2	103.3	103.3	103.2	102.5	103.3	104.1	

(注) ・上記数値は、当社グループの営業速報に基づいて作成しております。従いまして、実際の業績と営業速報値には差異が発生する可能性があります。

・既存店は、現存する店舗のうち、開店後 13 ヶ月経過した店舗を対象に算出しております。

〔所在地別店舗数〕

	平成 19 年 2 月期末現在			平成 19 年 11 月末現在			
	スギ薬局	ジャパン	合計	スギ薬局	ジャパン	飯塚薬品	合計
茨城県	-	-	-	1	-	-	1
群馬県	-	1	1	1	1	44	46
埼玉県	11	21	32	17	20	51	88
千葉県	2	-	2	3	-	1	4
東京都	1	4	5	2	4	1	7
神奈川県	-	-	-	1	-	-	1
関東小計	14	26	40	25	25	97	147
岐阜県	35	-	35	34	-	-	34
静岡県	1	-	1	1	-	-	1
愛知県	214	-	214	213	-	-	213
三重県	40	-	40	41	-	-	41
中部小計	290	-	290	289	-	-	289
滋賀県	16	2	18	15	3	-	18
京都府	9	14	23	10	14	-	24
大阪府	25	56	81	28	55	-	83
兵庫県	10	38	48	17	38	-	55
奈良県	4	6	10	5	6	-	11
関西小計	64	116	180	75	116	-	191
総店舗数	368	142	510	389	141	97	627